

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 商業 科目 情報処理

教科： 商業 科目： 情報処理 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（最新情報処理 実教出版）

教科 商業 の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 企業において情報を扱うことについて、体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報の適切な扱いに主体的に取り組もうとしている。

科目 情報処理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業において情報を扱うことについて、実務に即して体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>企業活動と情報処理</p> <p>【知識・技能】 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解させ、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとする力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>・身近な事例を基に情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解させる。</p> <p>・社会で利用されている情報システムの例や、ビジネスにおける情報活用の実例を学ぶことにより、コンピュータを利用した情報の処理や活用の重要性を理解させる。</p> <p>・情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより、ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解させる。</p> <p>・身近な事例から情報の価値を考える学習活動により、情報を正しく取り扱うことの大切さに気づき、そのために必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解させる。</p> <p>・情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と、その概要を理解させる。</p> <p>・企業における適切な情報処理について理解させるとともに、関連する技術を身に付ける。</p>	<p>【知識・技能】 情報の意義と重要性について考え、説明することができたか。 ネットワーク社会の危険性に気づき、対策を理解することができたか。情報処理における情報デザインについて理解するとともに、関連する技術を身に付けたか。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明できたか。 日常利用しているさまざまな情報システムに関心を持ち、その意義や役割を考え、理解させることができたか。 情報処理における情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだせるか。 個人情報や知的財産を保護することの意義を理解し、説明することができたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとする態度を持ったか。 身近な事例で情報モラルにもとづいた正しい行動のあり方を考え、説明することができたか。また、そのように行動しようとする態度を身につけたか。 企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしたか。 情報を取り扱う上で守るべき法律を理解し、その目的と概要を説明できたか。また、法令を遵守しようとする態度を身に付けたか。</p>	○	○	○	10
<p>ビジネス文書の作成</p> <p>【知識・技能】 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解させる。</p> <p>・ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解させる。</p> <p>・基本的な社内文書や社外文書を取り上げて、作成に関する知識と技術について理解させる。</p> <p>・ワープロの多様な機能を利用して、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術について理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 情報と文書の関係などについて興味を持ち、各種文書の役割や文書の構成要素などについて理解できたか。 ワープロの基本的な機能を利用して様々な文書が作成でき、ワープロの機能などを理解できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】 ワープロを利用した基本文書の作成に興味を持ち、様々な文書を適切に選択できるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとする態度を持ったか。 企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしたか。</p>	○	○	○	28
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>情報の集計と分析</p> <p>【知識・技能】 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために、表計算ソフトのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解させる。</p> <p>・事象をモデル化し、シミュレーションを行う基礎的な技法及びアルゴリズムを考案し、フローチャートを作成し、プログラムとして表現する基礎的な技法を用いた問題の発見と解決について考察させる。</p> <p>・ロジックツリー、PPM分析などを活用した情報の整理及びPDCAサイクルによる企業活動の改善について理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 基準のキー項目でデータの整理ができるか。フィルタ機能などを利用して、データの分類や整列、必要なデータの検索、抽出ができるか。</p> <p>ビジネスに関する問題の発見と解決について、基礎的な技法を理解し、関連する技術を身に付けてたか。</p> <p>【思考・判断・表現】 抽出されたデータなどの意義などを理解し、分析する判断に利用できたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスに関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、科学的根拠に基づいて、表現し、評価・改善できるか。</p> <p>ビジネスに関する問題の発見と解決について、自ら学び、適切な情報の提供と効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	15
	<p>コンピュータシステムと情報通信ネットワーク</p> <p>【知識・技能】 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>・コンピュータの基本的な機能と構成を理解させ、ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解させるとともに、それを活用する基本的な技術を身に付ける。</p> <p>・情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について理解させる。</p> <p>・電子メールの利用方法について理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解したか。</p> <p>ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成して、その機能を活用することができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】 電子メールのマナーなどについて興味を持ち、適切に利用できるか。また、危険性などについて理解できたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 検索・収集にインターネットを利用することに興味を持ち、効率的な検索ができるか。また、情報の価値や正確性について理解できたか。</p>	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>プレゼンテーションの技法</p> <p>【知識・技能】 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>・ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付ける。</p>	<p>【知識・技能】 プレゼンテーション活動の意義や役割を理解しているか。</p> <p>情報収集や整理、内容構成など、プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの一連の流れや基礎的な技法を身に付けているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 実施されたプレゼンテーションを適切に評価し、客観的な助言を与えることができているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手にわかりやすくプレゼンテーションを行うために表現のしかたやアビールのしかたなどを工夫しているか。</p>	○	○	○	6
	<p>ビジネスにおけるプレゼンテーション</p> <p>【知識・技能】 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解させるとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>・目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。</p> <p>・各種ソフトウェアを適切に活用し、様々な報告書や文書を作成、または発表する。</p>	<p>【知識・技能】 様々なソフトウェアと連携した文書などが作成でき、多様な機能などを理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 聴衆が理解しやすい資料や構成になっているか。</p> <p>各種ソフトウェアを活用し、実習に積極的に取り組み、適切な文書などに必要な処理などを考察できるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 目的や形態に応じた適切な方法で、資料作成などの準備ができているか。</p> <p>実習や探究問題に主体的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	8
						合計	
						105	